

平成16年度 決算報告書

国立大学法人 滋賀医科大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	5,435	5,435	—	
施設整備費補助金	31	31	—	
施設整備資金貸付金償還時補助金	19	57	38	(注1)
自己収入	11,547	12,740	1,193	
授業料及び入学金及び検定料収入	623	527	△ 96	(注2)
附属病院収入	10,876	12,105	1,229	(注3)
雑収入	48	108	60	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入	611	823	212	(注5)
長期借入金収入	266	265	△ 1	(注6)
計	17,909	19,351	1,442	
支出				
業務費	15,868	16,145	277	(注7)
教育研究経費	4,802	4,579	△ 223	
診療経費	9,762	10,454	692	
一般管理費	1,304	1,112	△ 192	
施設整備費	297	296	△ 1	(注8)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	611	630	19	(注9)
長期借入金償還金	1,133	1,171	38	(注10)
計	17,909	18,242	333	
収入－支出	—	1,109	1,109	

○予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備資金貸付金償還時補助金については、平成13年度貸付決定分の繰り上げ償還（平成16年度補正予算）により、予算金額に比して決算金額が38百万円多額となっています。
- (注2) 授業料及び入学金及び検定料収入については、授業料の改定に伴い、平成17年度入学者に係る授業料の前納収納を行わなかったこと(△65百万円)等により、予算金額に比して決算金額が96百万円少額となっています。
- (注3) 附属病院収入については、稼働率の向上、手術件数の増加等により、予算金額に比して決算金額が1,229百万円多額となっています。
- (注4) 雑収入については、承継剰余金（48百万円）及び科学研究費補助金に係る間接経費（26百万円）の受領により、予算金額に比して決算金額が60百万円多額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入については、国の各組織、特殊法人及び民間からの受託研究等及び寄附金の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が212百万円多額となっています。
- (注6) 長期借入金収入については、購入物品が競争入札執行の結果、安価となり、予算金額に比して決算金額が1百万円少額となっています。
- (注7) 業務費については、経費の節減に努めたが、附属病院収入の増収に伴う診療経費の増（692百万円）により、予算金額に比して決算金額が277百万円多額となっています。
- (注8) 施設整備費については、(注6)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が1百万円少額となっています。
- (注9) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注5)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が19百万円多額となっています。
- (注10) 長期借入金償還金については、(注1)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が38百万円多額となっています。